平成29年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年８月５日

上 場 会 社 名　河西工業株式会社　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　7256　URL http://www.kasai.co.jp/
代　表　者　(役職名)　代表取締役社長　(氏名)　堀　浩治
問合せ先責任者　(役職名)　取締役専務執行役員　(氏名)　半谷　勝二　(TEL) 0467-75-1125
四半期報告書提出予定日　平成28年８月８日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無　：無
四半期決算説明会開催の有無　：無

(百万円未満切捨て)

１．平成29年３月期第１四半期の連結業績（平成28年４月１日～平成28年６月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年３月期第１四半期	55,338	△5.0	3,598	△19.7	3,373	△25.7	2,188	△25.8
28年３月期第１四半期	58,232	13.3	4,478	77.9	4,542	81.4	2,951	115.8

(注) 包括利益 29年３月期第１四半期 △1,085百万円(　－%) 28年３月期第１四半期 3,187百万円(200.7%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
29年３月期第１四半期	57.48	57.20
28年３月期第１四半期	77.67	77.22

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年３月期第１四半期	127,867	52,243	36.0
28年３月期	133,501	55,102	35.7

(参考) 自己資本 29年３月期第１四半期 45,997百万円　28年３月期 47,623百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
28年３月期	－	12.00	－	14.00	26.00
29年３月期	－				
29年３月期(予想)		15.00	－	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成29年３月期の連結業績予想（平成28年４月１日～平成29年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	220,000	△7.6	13,000	△20.6	12,700	△21.2	6,800	△20.4	178.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　：無
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：有

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年３月期１Ｑ	39,511,728株	28年３月期	39,511,728株
②　期末自己株式数	29年３月期１Ｑ	1,405,330株	28年３月期	1,445,330株
③　期中平均株式数（四半期累計）	29年３月期１Ｑ	38,083,343株	28年３月期１Ｑ	38,003,605株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
（４）追加情報 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
(継続企業の前提に関する注記) …… 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) …… 8
(セグメント情報等) …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間における世界経済は、米国では労働市場は底堅く、個人消費も堅調に推移しており、景気は緩やかな回復基調を維持しました。一方、中国においては消費や輸出に持ち直しが見られるものの、雇用や所得など消費を取り巻く環境には陰りが見え、景気の減速基調が続いております。また、欧州では英国のEU離脱の決定を受けて政治・経済に対する不安が高まり、景気回復への影響が懸念されております。

我が国経済においては経済政策、金融緩和政策の効果が継続したことにより、緩やかな回復基調で推移したものの、海外の経済動向に加え、為替相場の急激な変動や株安の進行により、景気の先行きが不透明な状況となっております。

当社グループの関連する自動車業界では、米国市場ではSUVと小型トラックが好調な販売を継続しておりますが、乗用車においては低迷が見られました。中国市場では景気が減速しているものの販売は前年同期並みに推移し、欧州市場では乗用車の販売が増加傾向にあり、堅調さを維持しております。国内市場では昨年４月に軽自動車税が引き上げられたことに伴う影響が継続し、燃費不正問題もあり、軽自動車の販売が低迷しております。

このような経営環境の中で、当社グループではグローバルな自動車内装部品メーカーとしての地位を確立すべく、品質の確保、生産性向上と原価低減活動の推進、製品開発力・技術力の強化を図り、海外を含む事業展開を積極的に進めております。これらの活動の成果として、主要得意先で内外装部品としては初めてのグローバル品質賞やプラスチック成形加工学会の「青木固 技術賞」を受賞いたしました。

この結果、当第１四半期連結累計期間における売上高は553億38百万円と前年同四半期に比べ28億93百万円の減収（△5.0％）、営業利益は35億98百万円と前年同四半期に比べ８億80百万円の減益（△19.7％）、経常利益は33億73百万円と前年同四半期に比べ11億69百万円の減益（△25.7％）、親会社株主に帰属する四半期純利益は21億88百万円と前年同四半期比７億63百万円の減益（△25.8％）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（日本）

主要得意先の販売動向は前年同期並みに推移し、売上高は144億47百万円と前年同四半期比84百万円の増収（+0.6％）となりましたが、新車の立上げ費用等の増加により、４億49百万円のセグメント損失（前年同四半期は４億66百万円のセグメント利益）となりました。

（北米）

主要得意先の減産の影響を受け、売上高は281億88百万円と前年同四半期比26億83百万円の減収（△8.7％）となり、セグメント利益は20億８百万円と前年同四半期比２百万円の減益（△0.1％）となりました。

（欧州）

堅調な受注状況により、現地通貨ベースでは増収増益となりましたが、日本円ベースでは円高による為替影響を受けながらも、売上高は41億82百万円と前年同四半期比36百万円の増収（+0.9％）を保つ一方で、セグメント利益は為替の影響を吸収できず４億円と前年同四半期比29百万円の減益（△6.8％）となりました。

（アジア）

主要得意先の販売動向は前年同期並みに推移しましたが、円高による為替影響を受けたことにより、売上高は85億19百万円と前年同四半期比３億30百万円の減収（△3.7％）となり、セグメント利益は15億30百万円と前年同四半期比１億84百万円の減益（△10.7％）となりました。

（２）財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

当第１四半期連結会計期間末における状況は以下のとおりであります。

（資産）

総資産は1,278億67百万円と前連結会計年度末に比べ、56億34百万円の減少（△4.2％）となりました。主な減少は、現金及び預金43億49百万円、有形固定資産20億10百万円であります。

（負債）

負債は756億23百万円と前連結会計年度末に比べ、27億74百万円の減少（△3.5％）となりました。主な減少は、短期借入金14億円、未払法人税等10億74百万円であります。

（純資産）

純資産は522億43百万円と前連結会計年度末に比べ、28億59百万円の減少（△5.2％）となりました。主な減少は、為替換算調整勘定29億97百万円であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年３月期の通期（平成28年４月１日～平成29年３月31日）の連結業績予想につきましては、平成28年５月10日に公表いたしました予想値に変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号　平成28年６月17日）を当第１四半期連結会計期間に適用し、平成28年４月１日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第１四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

（４）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号　平成28年３月28日）を当第１四半期連結会計期間から適用しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成28年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成28年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,403	11,053
受取手形及び売掛金	27,096	28,688
製品	865	805
仕掛品	7,925	7,647
原材料及び貯蔵品	5,616	5,293
その他	6,264	6,973
貸倒引当金	△124	△116
流動資産合計	63,047	60,344
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	38,800	37,615
減価償却累計額	△19,895	△19,548
減損損失累計額	△575	△562
建物及び構築物（純額）	18,329	17,504
機械装置及び運搬具	64,556	62,632
減価償却累計額	△43,804	△42,661
減損損失累計額	△324	△331
機械装置及び運搬具（純額）	20,427	19,638
工具、器具及び備品	27,903	28,349
減価償却累計額	△22,602	△22,409
減損損失累計額	△35	△45
工具、器具及び備品（純額）	5,265	5,895
土地	6,810	6,705
建設仮勘定	8,046	7,124
有形固定資産合計	58,878	56,868
無形固定資産		
のれん	1,233	1,073
その他	854	830
無形固定資産合計	2,087	1,904
投資その他の資産		
投資有価証券	7,401	6,779
その他	2,094	1,977
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	9,487	8,749
固定資産合計	70,453	67,523
資産合計	133,501	127,867

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成28年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成28年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,693	24,951
短期借入金	11,007	9,606
未払法人税等	1,797	722
賞与引当金	1,759	1,138
その他	12,529	13,143
流動負債合計	51,787	49,562
固定負債		
長期借入金	18,398	17,874
退職給付に係る負債	3,611	3,432
その他	4,600	4,753
固定負債合計	26,611	26,060
負債合計	78,398	75,623
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,821	5,821
資本剰余金	5,339	5,355
利益剰余金	34,516	36,172
自己株式	△610	△593
株主資本合計	45,067	46,755
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,208	1,810
為替換算調整勘定	1,408	△1,588
退職給付に係る調整累計額	△1,061	△980
その他の包括利益累計額合計	2,555	△758
新株予約権	119	127
非支配株主持分	7,360	6,118
純資産合計	55,102	52,243
負債純資産合計	133,501	127,867

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成28年４月１日 至　平成28年６月30日）
売上高	58,232	55,338
売上原価	49,859	47,657
売上総利益	8,372	7,681
販売費及び一般管理費	3,893	4,082
営業利益	4,478	3,598
営業外収益		
受取利息	5	43
受取配当金	54	74
持分法による投資利益	－	43
為替差益	191	－
その他	33	44
営業外収益合計	285	206
営業外費用		
支払利息	113	110
持分法による投資損失	68	－
為替差損	－	317
その他	38	3
営業外費用合計	220	430
経常利益	4,542	3,373
特別利益		
固定資産売却益	0	6
新株予約権戻入益	3	－
特別利益合計	4	6
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	3	3
減損損失	－	26
特別損失合計	3	30
税金等調整前四半期純利益	4,544	3,350
法人税、住民税及び事業税	1,132	956
法人税等調整額	40	△219
法人税等合計	1,172	736
四半期純利益	3,371	2,613
非支配株主に帰属する四半期純利益	419	424
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,951	2,188

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成28年４月１日 至　平成28年６月30日）
四半期純利益	3,371	2,613
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	194	△398
為替換算調整勘定	△365	△3,270
退職給付に係る調整額	△17	81
持分法適用会社に対する持分相当額	4	△111
その他の包括利益合計	△184	△3,699
四半期包括利益	3,187	△1,085
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,780	△1,125
非支配株主に係る四半期包括利益	406	40

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成27年４月１日　至　平成27年６月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	日本	北米	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,363	30,872	4,145	8,850	58,232	－	58,232
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,940	1	－	493	2,435	△2,435	－
計	16,303	30,874	4,145	9,344	60,667	△2,435	58,232
セグメント利益	466	2,010	429	1,714	4,621	△143	4,478

（注）１．セグメント利益の調整額△143百万円は、セグメント間取引消去であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成28年４月１日　至　平成28年６月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	日本	北米	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,447	28,188	4,182	8,519	55,338	－	55,338
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,296	2	－	115	2,413	△2,413	－
計	16,743	28,190	4,182	8,634	57,751	△2,413	55,338
セグメント利益又は損失（△）	△449	2,008	400	1,530	3,488	109	3,598

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額109百万円は、セグメント間取引消去であります。
２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

当第１四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識はありません。